

2021年6月号：どのような企業がコロナ支援策を受けたのか？

【2021年6月号の内容】

- 1) どのような企業がコロナ支援策を受けたのか？
- 2) 政府系金融機関によるゼロゼロ融資、申請期限を延長
- 3) 医療従事者へのワクチン接種は、コロナ感染を大きく減らしている
- 4) これからの高齢化社会こそ健康情報の履歴管理は電子化が必要
- 5) COOL CHOICE が、うちエコ診断WEBサービス(正式版)を新規リリース

【1】 どのような企業がコロナ支援策を受けたのか？

.....

新型コロナウイルス感染拡大はかつてないほどの経済的なショックをもたらしました。この予想外のショックに対して世界各国は緊急対応策をまとめ、その中でも重要な政策は、企業への様々な支援です。

日本の中央政府は、企業の流動性問題を緩和するための特別融資プログラムに少なくともGDPの3%を割り当てており、金融機関による新型コロナウイルス対応関連の融資額はGDPの約10%と推定されています。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20210526_01.html

※外部サイトとなります。

【2】 政府系金融機関によるゼロゼロ融資、申請期限を延長

.....

経済産業省は5月25日、政府系金融機関による実質無担保・無利子融資の申請期限を2021年6月30日から2021年末に延長することを発表した。実質無担保・無利子融資（ゼロゼロ融資）は、新型コロナウイルス感染拡大による売上減少など一定の条件を満たせば、3年間の利子補給が受けられる。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20210525_01.html

※外部サイトとなります。

【3】医療従事者へのワクチン接種は、コロナ感染を大きく減らしている

医療従事者に対する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンの接種は医療従事者の COVID-19 感染を大きく減らしているという複数の報告が出ています。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/domestic/society/12298-1083417/>

※外部サイトとなります。

【4】これからの高齢化社会こそ健康情報の履歴管理は電子化が必要

「健康管理のプラットフォーム」を掲げて、企業・健康保険組合・健診機関・個人を対象とした支援サービスを提供する株式会社バリューHR。企業や健保組合向けだけでなく、個人でも利用できる健康管理支援サービス「バリューカフェテリア」は画期的なサービスだが、創業社長の藤田美智雄氏はどのような未来を描いているのだろうか。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/domestic/society/12301-1083091/>

※外部サイトとなります。

【5】COOL CHOICE が、うちエコ診断 WEB サービス(正式版)を新規リリース

「うちエコ診断」で年間約6万円もお得!?

快適に過ごしたいけど、光熱費も抑えたい。

新しい生活様式の中で在宅時間も増えて、光熱費が気になる・・・

おうちでのエネルギー消費を抑えるために色々やっているけど、

効果があるのかな。

具体的には、どんな行動や選択をすればいいの？

そんなあなたには「うちエコ診断」がおすすめです。

■詳しくはこちら

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20210511-01.html>

※外部サイトとなります。

※本メールは EST Group のサービスをご利用いただいた方にお送りしています。
※今後 EST Group からのご案内が不要の場合、ご連絡ください。
※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.